



# 第55回NGKスパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース





公式B3ポスター

## 【イベント概要】

- イベント名称：2019 鈴鹿・近畿選手権シリーズ最終戦  
第55回 NGKスパークプラグ杯 鈴鹿サンデーロードレース
- 日程：2019年11月30日(土) 公式予選  
12月 1日(日) 決勝レース
- 主催：株式会社モビリティランド
- 公認・承認：財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)
- 協賛：日本特殊陶業株式会社
- 開催レース：鈴鹿選手権  
インター JSB1000/インター ST600/インター J-GP3/  
インター JP250/ST600Revival  
鈴鹿・近畿選手権  
ナショナルJSB1000/ナショナルST600/ナショナルJ-GP3/  
ナショナルJP250
- 併催：CBR250RR Dream Cup DUNLOP杯 グランドチャンピオンシップ 2019  
HRC NSF250R Challenge グランドチャンピオンシップ 2019
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコース(2輪用:1周5.821km)

アマチュアライダーの祭典ともいえる、鈴鹿サンデーロードレース最終戦「NGKスパークプラグ杯」が、今年も鈴鹿サーキット 国際レーシングコース フルコースを舞台に開催されました。

日本特殊陶業株式会社様のモーターサイクルスポーツ発展と振興への熱い想いを原点とする本大会は、1965(昭和40)年に「鈴鹿モトクロス」への冠協賛をスタートとし、1996(平成8)年からは現在の鈴鹿サンデーロードレースへのご協賛となり、今回で実に55回もの歴史を重ねてきました。

本大会は全日本、そして世界を見据えたライダーたちの登竜門的な色彩も持ち、8レース・11クラスにわたって一年を締めくくる熱い戦いが展開されました。

## 【メディア概要】

- 取材者数：9媒体 14名
- ネット配信：Facebookライブで決勝レース生放送  
<https://www.facebook.com/suzukacircuit/>



## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN  
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

## ■ 鈴鹿選手権インター JSB1000

ヘアピンで発生したアクシデントにより赤旗が提示され、2レース制となったインターJSBは、スポット参戦の安田毅史が黒木玲徳、柴田義将の猛追を振り切ってNGK杯4連覇を果たしました。シリーズチャンピオンの栄冠は今回4位の西村一之の頭上に輝きました。

### 【ウイナー】

安田 毅史 / SUZUKI GSX-R1000R / TEAM AGRAS with NOJIMA / BS



## ■ 鈴鹿・近畿選手権ナショナルJSB1000

ポールポジションの香川純と2番グリッドの大須賀俊晴が終始トップ争いを展開。逃げ切った香川が今季2勝目を挙げました。後方からの追い上げで3位に入賞した沖永博一がシリーズチャンピオンに輝きました。

### 【ウイナー】

香川 純 / SUZUKI GSX-R1000 / DOG HOUSE with 邪狩Racing / DL



## ■ 鈴鹿選手権インター ST600 Supported by BRIDGESTONE

ポールポジションの伊達悠太と3番グリッドの砂泊孝太の一騎打ちとなったインターST600でしたが、伊達が徐々に引き離し、10秒以上の差をつけて優勝を飾りました。3位に入った澤村俊紀がチャンピオンに輝きました。

※タイヤはブリヂストンのワンメイク

### 【ウイナー】

伊達 悠太 / Honda CBR600RR / BATTLE FACTORY & KIMA Racing / BS



## ■ 鈴鹿・近畿選手権ナショナルST600

ポールポジションの綿貫舞空が好スタートを決め、その後完全な独走状態に。公式予選タイムに迫るファステストラップを記録しながら、2位の増田雄基に10秒以上の差をつけて今季3勝目を飾りました。シリーズチャンピオンは増田が獲得しました。

### 【ウイナー】

綿貫 舞空 / YAMAHA YZF-R6 / 伊藤レーシング / BS



## ■ 鈴鹿選手権ST600 (Revival) Supported by BRIDGESTONE

ポールポジションの前迫祥平と2番グリッドの岸本修による激しいトップ争いが最終ラップまで展開されましたが、岸本がこれを制してトップチェッカー。今季初優勝を飾りました。チャンピオンは前迫が獲得しました。

※タイヤはブリヂストンのワンメイク

### 【ウイナー】

岸本 修 / Honda CBR600RR / BIG WONDER&K,s AUTO&愛知トヨタ / BS



## ■ 鈴鹿選手権インター J-GP3/鈴鹿・近畿選手権ナショナルJ-GP3/HRC NSF250R Challenge グランドチャンピオンシップ

3番グリッドからスタートダッシュに成功した古里太陽 (NAT/NSF) が村瀬健琉 (INT)、濱田寛太 (NAT/NSF) との三つ巴のバトルを制して優勝。鈴鹿・近畿ナショナルJ-GP3のチャンピオンも獲得しました。鈴鹿インターは2位に入った村瀬がクラス優勝を飾りました。

### 【ウイナー】

(NAT/NSF) 古里 太陽 / Honda NSF250R / SRSコチラレーシング / DL  
 (INT) 村瀬 健琉 / Honda NSF250R / ミクニ テリー&カリ / DL



※写真は鈴鹿・近畿ナショナルJ-GP3

## ■ 鈴鹿選手権インター JP250/鈴鹿・近畿選手権ナショナルJP250

4戦全勝を挙げてすでにチャンピオンを決めている片山千彩都 (NAT) とスポット参戦の伊達悠太 (INT) の抜きつ抜かれつの展開となりましたが、日本ライダーの伊達が意地を見せて勝利をものにしました。

### 【ウイナー】

(INT) 伊達 悠太 / Honda CBR250RR / KIT Racing & BATTLE FACTORY / DL  
 (NAT) 片山 千彩都 / Honda CBR250RR / GOSHI Racing / DL



## ■ CBR250RR Dream Cup DUNLOP杯 グランドチャンピオンシップ2019

ポールポジションから飛び出した鈴木悠太に、田中風如、梶山采千夏、さらに谷川壮洋が加わり、この4台での熾烈な争いとなりましたが、最終ラップでトップに立った田中が激戦を制しました。

※タイヤはダンロップのワンメイク

### 【ウイナー】

田中 風如 / Honda CBR250RR / 56RACING / DL



## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIIE 510-0295,JAPAN  
 TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN  
 TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN  
 TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



参加者に配布された記念の年号入りTシャツと公式B3ポスター。



ホームストレートを彩ったNGKスパークプラグブリッジ。大会のランドマークとしておなじみの存在です。



ホームストレートのポールポジション付近に掲出されたNGKスパークプラグとNTKテクニカルセラミックの横断幕。



NGKスパークプラグとNTKテクニカルセラミックの横断幕付近で実施されたスタート練習(30日)。



恒例の参加者集合写真撮影時のスナップ(30日)。撮影されたショットは来年のメインビジュアルとなるほか、『ライディングスポーツ』誌にも掲載予定です。



鈴鹿サーキットクイーンもNGKスパークプラグロゴ入りコートを活用。スタート進行や表彰式に華を添えました。



各クラス上位3選手にはNGKスパークプラグキャップが配布され、フォトセッションタイムが設けられました(1日)。



大会名誉副会長 長野繁様(日本特殊陶業株式会社 自動車営業本部 国内市販部 部長)に表彰式のプレゼンターを務めていただきました(右/1日)。



公式予選開始前に運行されたコース下見バス。鈴鹿サーキット以外をホームグラウンドにする選手の多い本大会ならではの施策です(30日)。



CBR250RR Dream Cup/HRC NSF250R Challenge 表彰式でプレゼンターを務めていただいたHRCライディングアドバイザーの秋吉耕佑選手(右から2人目/1日)。



レース運営の中核などをご見学いただく「バックヤードツアー」。今回はスペシャル版「レーシングバージョン」としてチーム・ディライトのピット訪問も実施されました。



ホテルガーデンを鮮やかな光で演出する「ガーデンイルミネーション」。今シーズンは鈴鹿8耐の各メーカーカラーに彩られたグラウンドスタンドを模した趣向でお客さまを楽しませています。

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

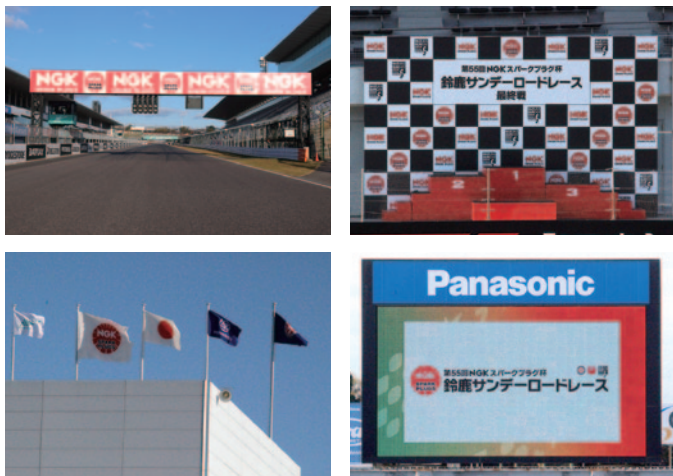
## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN  
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【大会冠ご協賛】



日本特殊陶業株式会社

【副賞ご協賛/サービスブースご出展】

- |                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 株式会社アルエスタイチ      | プライドワン                  |
| 株式会社オージーケーカブト    | 株式会社ブリヂストン              |
| 株式会社オーテック鈴鹿      | 株式会社ホンダ・レーシング           |
| キューズプランニング有限公司   | 医療法人宮本医院 みやもと鍼灸接骨院      |
| 株式会社クシタニ         | 無限電光株式会社                |
| 株式会社クレーバールフ      | ヤマハ発動機株式会社              |
| 住友ゴム工業株式会社       | ライディングコスチュームT&T         |
| 日本特殊陶業株式会社       | 株式会社和光ケミカル              |
| 有限会社ニートホットバンクUSA | JUBET LEATHER HOUSE     |
| 株式会社バトルファクトリー    | RAID-ZERO Co., LTD.     |
| パリエスターモルディング     | TECHNICAL SPORTS RACING |
| 株式会社ヒョウドウプロダクツ   |                         |

【公式プログラムご協賛】



A4 カラー/モノクロ 22p

オフィスとらくしよん

日本特殊陶業株式会社

株式会社バトルファクトリー

【サーキットビジョンご協賛】



日本特殊陶業株式会社

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN  
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている  
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2019年11月1日現在

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN  
TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN  
TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN  
TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435